

伸びよう 伸ばそう

ひむかの青少年

## はぐくむ

串間市は平成29年4月から、それまでの市内6中学校を統合して新しく「串間中学校」としてスタートいたしましたので活動内容を紹介します。



串間市青少年の声を聞く会

小学生、中学生、高校生が日常考えていること、感じていることを広く社会に向けて発表する機会を設け、社会の一員としての自覚を高めることを目的に「青少年の声を聞く会」を実施しています。

本年度から市内の6つの中学校が一校に統廃合されましたが、例年通り各地区の代表が素晴らしい発表をしてくれました。

## 串間市青少年育成市民会議の取組

6つの地区育成協議会がそれぞれ特色のある取り組みを行っています。今回は都井地区育成協議会、市木地区育成協議会、北方地区育成協議会の活動を紹介します。



北方地区育成協議会 植栽活動



都井地区育成協議会 諏訪浜清掃活動



市木地区育成協議会 花いっぱい運動

「はぐくむ」は宮崎県青少年育成県民会議の広報紙です。

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号 県庁福祉保健部 子育て家庭課内

電話 0985-26-7041 F A X 0985-26-3416

Eメール: miyazaki-sik@ab.auone-net.jp

「 青少年育成・支援地域活動モデル事業 」 モデル団体の紹介 (県内各地の取組)



① 宮崎南小学校PTAおやじの会



② 生目台東小学校PTA



③ 赤江東地区青少年育成協議会



④ 串間市青少年育成市民会議



⑤ 山之口町子ども会育成連絡協議会



⑥ 秘密基地A



⑦ 松原区世代間交流会



⑧ 美郷文芸の会



⑨ 門川町PTA協議会



⑩ 町区おやこ会

青少年育成県民会議は、県内の青少年の健全な育成に取り組まれている団体に助成金を交付しています。各市町村教育委員会又は青少年育成市町村民会議が推薦する団体の中から選定してモデル団体に指定しています。

- (1) 「家族がふれあう5つの共感活動」をテーマとした体験活動を推進する事業
- (2) 自然災害等の被災地の青少年との交流で青少年の健全育成を促進する事業
- (3) 青少年が自分の将来について考えることを地域で支援・促進する事業

市町村名	モデル団体名	事業の種類
1 宮崎市	宮崎南小学校PTA おやじの会	農業体験・自然体験・ボランティア体験をととした児童の健全育成活動
2 宮崎市	生目台東小学校PTA	各種体験や行事をととして家族や地域住民とのふれあいを推進する活動
3 宮崎市	赤江東地区青少年育成協議会	様々な体験活動をとおして地域への愛着心と豊かな心を育成する活動
4 串間市	串間市青少年育成市民会議	各地域での様々な行事や活動をとおして、自立と社会参加を推進する活動
5 都城市	山之口町子ども会育成連絡協議会	自然体験や各種行事をととした青少年の社会性やリーダー性の育成活動
6 日向市	秘密基地A	手作りのアスレチックを活用した、遊び・物作り体験での健全育成活動
7 日向市	松原区世代間交流会	世代間交流での農業体験や様々な行事をととした青少年の健全育成活動
8 美郷町	美郷文芸の会	様々な体験活動により、青少年の郷土愛や自己実現・形成を醸成する活動
9 門川町	門川町PTA協議会	ラジオ体操や研修会、行事をととした町内一円の青少年の健全育成活動
10 高千穂町	町区おやこ会	行事や奉仕・スポーツ活動をとおして地域ぐるみの青少年健全育成活動

少年の主張全国大会に参加しました。各地区の発表に感動しました。



「青少年の主張宮崎県大会」少年の部での、最優秀賞と優秀賞を受賞された3名に東京都で開催された「少年の主張全国大会」(平成29年11月12日(日)開催)に参加していただきました。感性の豊かな中学生が全国各都道府県代表の発表に触れることで様々な感動と刺激が得られ、本県の人材育成に寄与するものと考えています。

本県民会議は、会員の皆様の御支援により、可能な限り「青少年の主張宮崎県大会」少年の部の発表者を派遣して参ります。

## 少年の主張全国大会に参加して（感想）

西米良村立西米良中学校 2年 まき ひなこ  
牧 絃奈子

「こんな・・・こんなすごい大会に私は来ていたのか。」  
その時の感動と、憧れと、私もあの舞台に立ちたいという決心は、今でも心の中でふつつつと燃え上がっています。

11月11日。小さな村からはるばると東京へやって来ました。不安もワクワクも心の奥にしまい込み、胸を張って電車に乗り込みました。

前日の交流会では、あんなにたくさんの人と交流する機会などなかったので、とても心に残りました。しかも、全員初めましての中学生だったので、それぞれの価値観を大切にすることを学びました。これを、村に帰ってきた今でもしっかりと意識しています。

大会での第一印象は、「こんなすごい大会に私は来ていたのか。」でした。選ばれた方々は、自分の心にある主張を堂々と発表し、その思いはしっかりと伝わってきました。彼らはとても輝いてみえて、「来年は、自分の主張を皆に聞いてもらいたい。」そう強く思いました。

今回の経験から、学ぶこと、改めること、目指すものなどたくさんのことを得ることができました。先生方、両親、多くの人に感謝し来年に向けて頑張りたいです。

「自分は本当にあの発表者たちと同年代なのか？」

そう思えるほど、僕は全国大会のレベルの高さに圧倒されていました。

彼らが話しているテーマはどれも身近な事で、決して未知のものではありませんでした。友人とのつき合い、日常で感じる真心、生命の大切さ、身体的・性的コンプレックス。

それらを素直な心で感じて、言葉にできる中学生がこんなにいると知った時、僕は、自分の世界が一気に広がったような気分になりました。

発表を聴いた後の大きな感動と、同時に感じた「負けられない！」という熱い思いは、この全国大会で得られた宝物です。彼らと同じ中学生として、これからも日々、自分の可能性を信じて素直な感性と心を磨いていきたいです。

先日行われた少年の主張全国大会を見て、私はとても勉強になりました。私自身はこの大会が初参加でした。やはり、全国大会となると私の想像をはるかに超えていました。私は、県大会で主張を行う時に、とても緊張をしていました。しかし、全国大会の発表者はそんなことも忘れてしまうような、堂々とした姿で発表をしていました。しっかり自分が何を相手に伝えたいのか、声の大きさ、物を使いしっかり自分の思いを大きく表現して話していました。とても言葉に表せないほどすばらしかったです。

私は、この大会でたくさんのことを学びました。自分の思いを主張で表すことはとても良いことだと思いました。様々な方法で、たくさんの表情で、たくさんの人に自分の意見を言うことの楽しさがとても伝わりました。

少年の主張全国大会を間近で見る、そして聞くことができ、とてもうれしかったです。

「知事に伝えよう私の思い」 ～中学生・高校生が“思い”を知事に伝えました～



「青少年の主張宮崎県大会」(平成 29 年 8 月 17 日(木)開催)少年の部及び青年の部でそれぞれ最優秀賞・優秀賞を受賞した5名の皆さんが、12月18日(月)に県庁講堂で開催された「知事に伝えよう私の思い」に参加しました。

## 将来の自立した生き方へ自覚を高める「立志の集い・立志式」

日本では人生の通過儀礼として七五三のお祝いや成人式など、様々な意味での節目があります。また、昔は数え年 14 歳の立春の日に「元服式」という儀式が行われていました。

これは「大人の仲間入りをする」という大きな節目でした。そして、現在は、県内の殆どの中学校で 14 歳になる第二学年を対象とした「立志の集い」あるいは「立志式」が開催されています。宮崎県青少年育成県民会議では毎年「はばたけ 14 歳」というパンフレットを配付しています。

今回は延岡市立 岡富中学校の「立志の集い」をご紹介します。

立志の集い 岡富フォーラム『どうする？岡富』は、目的を①これまでの学びを振り返る機会とする。②「残していきたい岡富の宝」について深く考える。③講師の話や考えを参考に「地域に貢献する」人づくりのきっかけとする。として次のような内容で開催されました。

第一部 記念講演「未来のためにまちと山をつなぐ」

講師 今西 猛 氏（美郷町南郷区渡川 山師）

第二部 岡富フォーラム「どうする？岡富」

- 1 生徒からの提言 「岡富の宝を残していくために」  
城山・城山の鐘を残していくためにどうすればよいか
- 2 全体討論（フォーラム） ～生徒による意見交換～
- 3 これからの活動についての方向性の確認と延岡市へのプレゼンテーション



今西 猛 氏の記念講演



討論会での意見交換の様子

## 立志の集いに参加して（生徒の感想）

- ・私は、普段ネガティブに考えすぎといわれることがあるので、もっとポジティブに考えて思考を広めることが大切だと思いました。
- ・「真似じゃない、欲しい未来は自分でつくる」という言葉はとてもいいと思いました。これからも延岡のことについて考え「来たい」と言われるようなPRを考えていきたいです。
- ・町の魅力は見つけるものであり、つくるものではないと思った。さらに延岡にあるいいところを見つけるだけでは延岡の活性化にはつながらないことも分かった。
- ・中学生が今動き出すことが大事、ぼくたちが動き出すことが延岡のためになるんだと感じました。

学校

幼稚園・  
保育園

PTA

研修会

各種  
会合

保護者  
会等々

# メディア安全指導員を 派遣します

宮崎県では、乳幼児や青少年を取り巻くメディア利用の現状、危険性や対処法などを講話する「**メディア安全指導員**」を養成し、県内の学校等様々なところからの要請に応じて派遣しています。

**メディア安全指導員**は、子どものメディア利用の現状、長時間接触の問題のほか、ゲーム機、スマートフォン、インターネット、テレビなどが脳や目をはじめ、身体に及ぼす影響や問題点と対応策などを、青少年の育ちに関わる様々な研修会や授業等で、受講者（小・中・高校生・保護者等）の視点に合わせた講話を行います。

乳幼児や青少年を取り巻くメディアの現状には、日本小児科医会も警鐘を鳴らしています。小・中・高校生の皆さん、保護者の方々、メディアとの上手なつきあい方を学んでみませんか？

※ 派遣には、謝金（5千円～1万円程度）と旅費が必要です。

□■お問合せ先■□

宮崎県こども家庭課

公益社団法人宮崎県青少年育成県民会議

TEL:0985-26-7041 Fax:0985-26-3416

宮崎県青少年育成県民会議

検索



## メディア安全指導員派遣の様子



たかふさ保育園での講演



佐土原高校での講演